

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

海外進出しても日本は空洞化しない (その 2) 中沢 孝夫 (福井県立大学特任教授)

- 国内世論の一部では、工場の海外進出、海外展開を「海外移転」という言葉に置き換えて、空洞化、あるいは国内雇用の喪失、と結びつける向きもあるが、それは事実と異なる。特に中小企業の場合で言えば、積極的に海外との貿易をおこなったり、あるいは工場進出をする企業ほど、国内の工場が成長しているのが実際である。
- ここで海外の工場展開の数字をみてみよう。2001 年度の海外での法人数は約 12500 社 (製造業が 6500 社) であったものが、2009 年度には 18000 社 (製造業 8400 社) を超えている。またこの数字の約 50% が中小企業であるといつてよいのだ。ではこの間に空洞化が進んだのだろうか。製造業の出荷額は、ピークだった 1991 年には 340 兆円 (従業者数 1100 万人) だった。それが 2008 年度 330 兆円 (従業者数 836 万人) である。従業者数の減少と出荷額をみると、一人当たりの生産性が上昇しているということになる。これは空洞化というよりも、体質改善と評価すべきではないだろうか。
- また、忘れてならないのは、「現地調達」というとき、「現地企業」の多くは日本から進出している企業だという事実である。

(参考:「文藝春秋」2011 年 11 月特別号)

幹部への活きた言葉

生涯修業が自己の使命

- この世に自己の意志で生まれてくる人は一人もいない。寿命もまた人の意志の範疇をはるかに超えている。しかも自分と同じ人間は過去にもいなかったし、これからも生まれてこないということである。人は誰しもの悠久の宇宙の中でただ一人、一回限りの命を生きている。まさに奇跡の命であり、人生である。
- この事実に感応した先覚者たちは、人は皆一個の天真を宿してこの世に生まれてくる、と考えるようになった。天真とは、天がその人だけに与えた真実である。その天真を發揮し、成熟させ、完成させていくことこそ、天が人間という生命体に託した課題ではないか。またそのことによって、人は他を照らす人生を生きていくことができる。それは一生を懸けて果たしていく道である。その思いから先覚者たちは生涯、成長し続けることを自己の命題とした。生涯修業を自己の使命として生きた。

(参考:「致知」:2012 年 1 月号)

経営者のための社会学

日本各地でゆがみが生じる (2020 年)

2020 年、人口にまつわる諸問題は、日本各地にゆがんだ形で表われる。(国立社会保障・人口問題研究所推計)

- 東京都の推定人口は、2020 年段階で 1310 万人とピークに到達。日本人の 10 人の 1 人は東京在住という結果に。一方、都民の高齢化も加速し、4 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者になる。
- 2020 年には、年間死亡者数が 150 万弱に上る一方、出生数は 74 万 6000 人ととどまる。少子化と長寿化で「少ない子供を大切に育てる」風潮が一般化する。
- 未婚率の高まりと高齢者の死別に伴い、一人暮らし世帯の増加が止まらない。2020 年代には全世帯の 34.4% が一人暮らしになる。

(参考:「日経ビジネス」2011 年 10 月 3 日号)

古典に学ぶ

満足は衰退の第一歩である

「すべて世の中の事は、もうこれで満足だという時は、すなわち衰える時である」

(訳) どんなことでも、「これで満足だ」と思ったときこそ、気を引き締めねばならない。なぜなら、それはこれから衰えていく予兆だから。

(参考: 渋澤健「渋澤栄一 100 の訓言」: 日本ビジネス人文庫)